

千葉県立海浜病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	小児1型糖尿病の急性期以降におけるインスリン治療の検討 (No. 2024-9)
当院の研究責任者 (所属)	小野 真 (小児科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	鈴木 奈都子 東京ベイ・浦安市川医療センター 小児科
本研究の目的	<p>1型糖尿病における発症時の残存膵β細胞機能は症例毎に異なります。ケトアシドーシスやケトアシドーシスで発症する重症発症例では特に残存膵β細胞機能が低下しているとされますが、急性期以降の治療において、内因性インスリン分泌を考慮した必要インスリン投与量についての明確な基準はありません。</p> <p>この研究では小児1型糖尿病発症時の重症度が、急性期以降の治療における必要インスリン量の指標となるかを、診療録の情報をを用いて後方視的に検討するもので、千葉県立海浜病院を主たる研究施設として行う多施設共同研究です。</p> <p>本研究の結果から、1型糖尿病発症急性期以降の従来の治療法によるコントロール状況が明らかになり、結果を考察することにより良好なコントロールを目指す契機となり、今後の診療へ役立てることができると考えられます。</p>
調査データ 該当期間	研究倫理審査委員会承認後 ～ 2028年3月31日まで
研究の方法 (使用する試料等)	<p>対象となる患者さん</p> <p>2014年4月～2023年12月に新たに1型糖尿病を発症して当院小児科を受診した患者さんのうち、抗GAD抗体、抗IA-2抗体、抗インスリン抗体のいずれかが陽性であり、発症後最低1年間の当院通院歴があった方。</p> <p>利用する情報：電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します 使用する試料：なし</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学術集会・学術雑誌等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話： 043-277-7711 (千葉県立海浜病院代表) 担当者：小児科 小野 真
備考	なし